

平成27年度 第3回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成28年3月22日（火） 9時30分～11時30分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）
- 3 出席委員 16名  
河田委員長，舟本副委員長，上野委員，稲木委員，今井委員，櫛淵委員，松本委員，橋本委員，金田委員，高橋委員，勝田委員，加藤委員，小池委員，若園委員，増淵委員，塚原委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
  - (1) 報告事項
    - ① 平成27年度 放課後子ども教室事業の実施状況について
    - ② 平成27年度 魅力ある学校づくり地域協議会の実施状況について
    - ③ 平成27年度 家庭教育支援事業の実施状況について
    - ④ 平成27年度 宇都宮市民大学の実施状況について
    - ⑤ 平成27年度 人材かがやきセンター主催講座の実施状況について
    - ⑥ 平成28年成人式の実施状況について
  - (2) 協議事項
    - ① 平成28年度 社会教育行政の基本方針と重点施策について
    - ② 平成28年度 文化行政の基本方針と重点施策について
  - (3) その他
    - ① 平成28年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日等について

7 発言の要旨

河田委員長	それでは、報告事項①「平成27年度 放課後子ども教室事業の実施状況について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
河田委員長	ありがとうございました。 それでは何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。
勝田委員	放課後子ども教室は、全小学校区での立ち上げが目標となっているが、まだ未実施校があると思う。課題には、「地域の理解と協力」との記載もあるが、行政側から未実施校に対する支援とは、どのようなものを行っているのでしょうか。

事務局	未実施校は現在16校であり、コーディネーター等の協力者の人材確保が難しい地域や、子ども会やスポーツ少年団等により類似の活動がすでに実施されている地域などになります。未実施校に対しては、訪問して学校や魅力ある学校づくり地域協議会の役員の方などに「放課後子ども教室」の活動目的などを十分に詳しく説明し、理解促進を図っており、今後もすべての小学校での設置に向けて立ち上げを支援してまいります。
勝田委員	人材確保の件になりますが、宮っ子ステーションの会長は、子どもの家において、民間の事業主のような役割も担うため、そういったことが出来る人材でないと難しい。後継者探しが難しいという大きな問題があると思います。できれば子どもの家については、組織の運営方法などについて検討して頂きたいと思います。
事務局	子どもの家の会長はボランティアという形で、運営から会計まであらゆる場面で御協力いただいております。運営のあり方については、今後検討していく必要があると認識しております。引き続き研修などを通じて、役員の方々など子どもの家の運営を支援してまいります。
河田委員長	事業実施における成果として、「コミュニケーション能力の向上」や「地域とのきずなづくり」、「学習習慣の定着」等とあるが、この成果については、何か客観的に結果が出ているのでしょうか。
事務局	成果については、数値的なデータによる結果等が出ているものではないのですが、放課後子ども教室のコーディネーターからの声を基に成果として捉えております。例えば、「以前と比べて、子どもたちが積極的に大人たちと会話するようになった。」という声などもあります。また活動の中には、中学生も参加いただいている活動もあるので、そういった活動は、特に「きずなづくり」を意識して取り組んで頂いております。
河田委員長	そうした成果として捉えることが出来る声が実際あるのであれば、具体的に記載してもらえると、より成果が見えるようになるのではないのでしょうか。
事務局	今後、検討させていただきます。
河田委員長	その他に何かありますでしょうか。
増淵委員	事業の実施回数に差があるが、これはコーディネーターや活動アドバイザーに関わるものなのでしょうか。また、80%以上の放課後子ども教室で、スポーツ活動を実施しているので、身体的な向上に関することを成果としてあげても良いのではないのでしょうか。学習活動では、英会話や漢字検定などを実施しているところもあるようですが、そうした地域は何か利点や要望等が出ているのでしょうか。また、学習

活動に関する内容を実施していない学校と学習習慣の定着について、何か差が出ている状況はありますでしょうか。

事務局

活動回数の差については、地域によってコーディネーターや活動アドバイザーなどの活動回数に差があるためこのようになっております。放課後子ども教室の活動を通じた身体能力の向上等については、統計的に把握することは困難でありますので、コーディネーターなどの意見により把握することを検討したいと思います。学習活動については、資料に記載のない学校においても、ほとんどの放課後子ども教室において宿題タイムを設けるなど、学習習慣の定着につながる何らかの学習活動を実施している状況であります。

河田委員長

貴重な御意見ありがとうございました。それでは、次の議題に移ります。  
報告事項②「平成27年度 魅力ある学校づくり地域協議会の実施状況について」事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

ありがとうございました。  
それでは何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。

加藤委員

地域コーディネーターの担う役割は大きなものがあると思いますが、地域によって地域コーディネーターの活動範囲や関わり方にとっても差があると感じています。これについては、実績報告などで市にも報告しておりますので、御存知かと思いますが、今後どのように養成していきたいと考えているのでしょうか。

事務局

加藤委員からありましたように、地域コーディネーターの役割はとても大きなものがあります。また、事務局においても地域によって活動状況に差があることは認識しており、活動実践事例集などを作成いたしました。今後においても研修などを通じて、目標とすべき体制や活動内容をお伝えし、コーディネーターの活動を支援してまいります。

加藤委員

地域コーディネーターの活動内容は、「学校や地域と関わって総合的な連絡調整を行う」となっていますが、具体的な活動は地域の実情にあわせた活動になりますので、非常に差があると感じています。こうしたコーディネーターの活動内容の差は、学校にとっても負担になると思います。副校長先生などが窓口になることが多いですが、学校とコーディネーターで、うまく役割を分担することが難しくなってしまうと思います。報告書や会計など、いろいろな事務がありますが、出来ればコーディネーターが担う範囲などを示してもらえると助かるので、検討して頂ければと思います。

稲木委員	<p>学校現場での意見になりますが、小学校では、読み聞かせや安全ボランティアなど、こうしたボランティアの方々の活動は、なくてはならない活動となっています。現在、学校では副校長や担任が、地域連携教員として地域との窓口となっており、ボランティアとの連絡調整を行っています。学校規模など様々な要因により、中学校では地域コーディネーターなどのボランティアの方々と、どのように連携して活動するかが難しい場合もあります。しかしながら、魅力ある学校づくり地域協議会もかなり定着してきましたので、今後ますます、学校にどのように地域の方の協力をいただくのかが、重要になってくると考えます。</p>
加藤委員	<p>中学校では地域学校園などもあり、コーディネーターへの要望が出にくいという状況があると思いますが、遠慮なく活用して頂きたいと思います。ぜひ、学校とも共通理解を図っていただき、連携を強化してもらいたいと思います。</p>
河田委員長	<p>御意見ありがとうございます。このような人材の育成や活用の問題は、様々な分野でも課題となっています。ぜひ行政がリーダーシップを発揮して、こうした人材がうまく活躍できるように取り組んで頂きたいと思います。</p> <p>それでは、次の議題に進みたいと思います。</p> <p>報告事項③「平成27年度 家庭教育支援事業の実施状況について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
増淵委員	<p>とても素晴らしい事業が実施されていると思います。</p> <p>ここで「親学」という言葉が使われておりますが、この言葉については、一般的に良い言葉だと受け止められる反面、昔ながらの伝統的な子育ての奨励など、間違っただけの受け止め方をされる可能性も含んだ言葉であります。現在は多様性のある社会ですので、決められた思想だけで良いのかとなってしまいます。そのため、注意書き等で、宇都宮市が考える「親学」という言葉の意味について記載をしていただくと、公共性のあるものとして、間違っただけの認識をされないとしますので、検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>本市の家庭教育支援の考え方ですが、親への支援としての学習機会の提供というものを「親学」と呼んでおり、気づきにつながる情報の提供をするものであります。平成19年度から本市では使っておりますが、増淵委員から御意見あったように、資料への記載等については、誤解を与えないよう今後検討してまいります。</p>
河田委員長	<p>その他、何かありますでしょうか。</p> <p>小池委員から何かありましたら、お願いできますでしょうか。</p>
小池委員	<p>平成18年に指導者養成講座を受講し、この親学のプログラムを通して感じたこ</p>

とですが、今も昔も子育てをしている親が抱える不安、孤独感は変わらないものがあります。私の話を聞いてほしい、話をさせてほしい等、様々なものがあり、こうした事業を通して、いろいろな方の話を聞くことで悩んでいるのは自分だけじゃないと感じることが出来て、継続して事業を実施する中で、親の不安や悩みを少しずつ解消できていると感じます。内容も毎年見直しして、充実してきておりますし、この事業はとても意味のある事業だと思います。

河田委員長

ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。

今井委員

親学に参加される方は意識のある人たちだと思いますが、講座等になかなか参加しない方々に対しては、どのような取組を行っているのでしょうか。

事務局

親と子どもの情報誌を市内の全幼稚園・保育園、小中学校を通して各家庭に配布しております。これは手に取ってもらえるよう、文字を少なくし、視覚に訴える工夫をしております。また、イベントのような取組になりますが、人が多く集まる場所での親学講座や、企業内での親学講座を実施しており、来年度以降も力を入れていきたいと思っております。

今井委員

なかなか多くの人に周知するのは難しいと思いますが、様々な団体や機関などとも連携して多くの方々に周知して頂きたいと思っております。よろしく申し上げます。

河田委員長

ありがとうございました。私の大学でも子育て支援センターにおいて、親子の交流事業を実施しておりますが、今後は行政と連携して、いろいろ取り組みを広げていければと思っております。

それでは、次の議題に移ります。

報告事項④「宇都宮市民大学の実施状況について」、⑤「平成27年度 人材かがやきセンター主催講座の実施状況について」、一括して事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

それでは何か御質問など、ありますでしょうか。

特にないようですので、報告事項⑥「平成28年成人式の実施状況について」事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

橋本委員

内容については素晴らしいものでしたが、星が丘中学校区については、出席者数が多く、会場に入るのがやっとでした。次年度の会場と中学校区の割り振りについては、何か検討していただければと思います。

事務局	会場の混雑については、大変ご迷惑をお掛けいたしました。混雑の状況は事務局でも認識しております。次年度の会場や中学校区の割り振りについては、卒業生数やこれまでの出席状況等を考慮し、準備してまいります。
河田委員長	ありがとうございます。榎渚委員などは、毎年出席していただいておりますが、何か御感想などありますでしょうか。
榎渚委員	私が参加した会場では、新成人が大変静かで、素晴らしい成人式でした。先ほどの資料にもありましたが、親学など様々な取組の成果が出てきているのかなと感じます。大変感動しました。
河田委員長	ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。 特にないようですので、協議事項に移ります。 協議事項①「平成28年度 社会教育行政の基本方針と重点施策について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
河田委員長	それでは、この件につきまして何か御意見・御質問などありますでしょうか。
増渚委員	資料に「マッチング支援」との表現がありますが、これについては少々違和感を感じますが、例えば「連携」など、もう少しわかりやすい他の適当な表現が出来ないでしょうか。
事務局	この事業につきましては、委員からの御指摘のように、やや馴染みのない表現もありますが、「第2次地域教育推進計画」の計上事業と関係するため、このように記載しております。今後、計画の改定もありますことから、その時に検討してまいりたいと考えております。
河田委員長	ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。 それでは、この件については、よろしいでしょうか。
全員	異議なし
河田委員長	それでは、次の議題に移ります。 協議事項②「平成28年度 社会教育行政の基本方針と重点施策について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】

河田委員

それでは、この件につきまして何か御意見・御質問などありますでしょうか。

上野委員

歴史文化基本構想の策定については、市内外の文化財を対象としてもらいたい。宇都宮関係の資料は、県外にも多数存在しているので、そういった資料を県が保存や調査をするのではなく、市で収集していただきたいと思います。また、資料に事業の推進とありますが、事業の推進にあたっては、資料の収集・保存が重要です。宇都宮に関係する資料は、空襲など様々な要因により、この街から流出してしまっているものがあるので、市で責任をもって資料の収集・保存に取り組んでいただきたいと思います。その他として、ぜひ市に専門的な職員を配置していただきたいのと、これだけたくさん事業を実施しているのですから、施設として博物館を作りたいと思います。

なお、こうした重点施策の作成にあたっては、文化財の基本となる、保存と調査と教育普及をどうやってやるのか等、専門性をしっかり押さえた内容にしていきたいと思います。

事務局

歴史文化基本構想についてですが、これについては、基本的には市内に所在する文化財をどのように文化財群として捉え、それをどのように組み立てて、ストーリーを立てるかというものになります。市博物館の設置については、情報発信や保存活用等、今後の施設のあり方として、また、専門的な職員の配置など体制については、調査研究活動の強化として、検討改定する「文化振興基本計画」に明記しておりますので、その中で検討してまいりたいと考えております。

河田委員長

ありがとうございました。その他に何かありますでしょうか。

櫛淵委員

最近、家族で出かける家庭が増えたり、子どもの習い事などの様々な要因により、地域の子ども会活動などにおいて伝統行事がなくなってきていると感じております。地域の伝統行事に参加することは「地域の魅力づくり」と「絆づくり」につながると思います。親がそういった行事に子どもたちを参加させるようになると良いと思いますので、委員の皆様にも御協力と御理解を頂きたいと思います。

河田委員長

ありがとうございます。他になにかありますでしょうか。

増淵委員

テレビで報道していましたが、高校生が自分たちの街の文化等を旅行に来た方などに御紹介するという活動をやっているそうです。宇都宮市で実施するのは難しいかもしれませんが、こうした取り組みは、重点施策(1)、(2)に関係しますし、学校との協力関係を築くうえで有効ではないでしょうか。何かを提供するのが市の教育行政では多いと思いますが、高校生活に大きく関わる何かを仕掛けるには、文化というものは非常に有効だと思いますので、関係各課でアイデアを出してもらえればと思います。

河田委員長	ありがとうございます。他に何かありますかでしょうか。
若園委員	重点施策(1)に「文化財展示施設」と記載がありますが、上野委員からもありましたが、博物館・資料館には教育的な側面もあると思いますので、例えば文化財教育施設などとしてはどうでしょうか。また、重点施策(4)に「多文化共生や国際交流」とありますが、このあたりの内容が少々見えてこないのので、検討いただければと思います。
河田委員長	ありがとうございます。他に何かありますかでしょうか。 それでは、この件については、よろしいでしょうか。
全員	異議なし
河田委員長	ありがとうございます。 それでは、その他①「平成28年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日等について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<b>【資料について説明】</b>
河田委員長	御説明ありがとうございます。 それでは、以上で私の進行を終了させていただきたいと思います。 皆さん御協力ありがとうございました。それでは進行を事務局に戻します。
事務局	河田委員長、進行ありがとうございました。 それでは、次第「3 その他」になります。 事務局より連絡事項について説明させていただきます。  <b>【配布資料および、次回の会議日程について説明】</b>  本日は長時間に渡ってのご審議、誠にありがとうございました。 以上をもちまして、平成27年度第3回社会教育委員の会議を閉会いたします。